東大人文・淀江プロジェクト
第５回 特別講座

日本のことば、西伯のことば

日　時
令和９年
1月30日（土）
14:00 ～ 16:00（開場 13:30 ～）

会　場　米子市淀江文化センター イベントホール
米子市淀江町西原708－4

参加費 無 料
※要事前申込

定　員 100 名

講　師　小西 いずみ 氏　東京大学教授



東京都立大学人文学部卒業、東北大学大学院文学研究科修了。博士（文学）。東京都立大学助手、広島大学専任講師、同准教授、東京大学准教授を経て、現在、東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門は日本語学、方言学。
主な著作に『方言学の技法』（岩波書店、2007 年、共著）、『富山県方言の文法』（ひつじ書房、2016 年）、『日琉諸語における情報構造と文法現象』（ひつじ書房、2026 年、共編著）などがある。

講演概要

司会進行　佐藤 宏之 氏
（東京大学大学院人文社会系研究科・特任研究員、東京大学名誉教授）

日本では多くの人が日本語を使いますが、日本で使われてきた言語は日本語だけではありません。また、日本語に地域差があることも多くの人が経験的に知っています。
この講座では、「日本」という国と「日本語」との関係、「日本語」の多様性、さらに、西伯のことばが「日本語」の中にどのように位置づけられるのかを、音声や地図資料を通して学んでいきます。

申込み方法

電話・FAX・メール等で
① 代表者お名前
② 代表者ご連絡先電話番号
③ 参加希望人数（代表者含む） を添えて
米子市淀江文化センターにお申込みください。

- 電話　０８５９－３９－４０５０
- FAX　０８５９－３９－４０５１
- E メール　saname@yonagobunka.net
- メール申込フォーム QR コード

＜開館時間＞ 9:00 ～ 22:00
＜休館日＞ 毎週水曜日と
年末年始 (12/29 ～ 1/3)

東大人文・淀江プロジェクト とは

１９０１年日本の考古学・人類学の草分けと評される坪井正五郎氏（東京帝国大学教授）は淀江町を訪ね、本州唯一の石馬に注目しました。
また、長者ヶ平古墳から発見された金銅製冠などの副葬品は、今も東京大学に保管されています。そのような縁もあって、東京大学文学部に、令和４年から当面５年間の予定で立ち上がった淀江研究のプロジェ クトです。毎年シンポジウムや講演会を開催し、たくさんの方にご参加いただいています。

主　催　東大人文・淀江プロジェクト
［東大問い合わせ先］　プロジェクト室（佐藤）　☎０３－５８４１－４０４６　hsato@l.u-tokyo.ac.jp
事務担当（瀧口）　☎０３－５８４１－４０２８

共　催　米子市、一般財団法人 米子市文化財団［米子市淀江文化センター］

後　援　鳥取県、NPO 法人 むきばんだ応援団、一般社団法人 淀江ロマン遺跡回廊